

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市袋原たんぼぼホーム	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台はげみの会	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 3,077人(前年度比100%) 令和3年度 3,072人(前年度比124%) 令和2年度 2,486人(前年度比76%)	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 63,578千円(62,871千円) ・ その他市が負担した費用 18千円(480千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 42,352千円(40,873千円) ・ その他収入 0千円(0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の年齢や発達状況、障害特性に合わせた療育支援を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 情報管理の徹底に努めており、事故防止や災害発生時の対応や体制を確立している。 災害発生時の対応について、近隣保育所等とネットワークを構築しているほか、避難訓練は毎月実施しており、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設の定期的な保守点検・清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	定期的に研修や職員会議を実施し、人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上に努めている。また、意見箱の設置や、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	集団での療育の他、1人1人の発達課題に添った個別活動の実施や、保護者との面談・療育場面の共有を通し、利用者個々の発達に寄り添った個別支援計画の作成に努めている。 指定児童発達支援事業所として、基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台はげみの会）による自己評価》
<p>1. 発達支援</p> <p>①子どもの特性に応じ、クラスの状況にも考慮した支援計画を丁寧に立て、視覚的支援、物理的構造化を行いながら集団で楽しめる療育内容を工夫した他、個々に合わせた対応の実施や個別活動の時間を設けた。保育士、看護師、心理士が連携し多角的に支援の手立てを考え、それぞれの障害や特性に合わせたプログラムを行った。</p> <p>②年齢や発達状況、在籍期間に応じて単独通園、施設内分離を実施する中で身辺自立や子ども同士の係わりの機会を設けることができ成長が見られた。保護者が客観立場から我が子を見る機会を増やしたことで子どもの強みや苦手を共有し支援の手立てを考えることができた。</p> <p>2. 家族支援</p> <p>①子どもへの理解を深め、対応のコツを掴むためにペアトレ等の勉強会に加え、感染症対策など実生活に合った内容の勉強会も実施し、即実践でき参考になるとの感想を頂いた。</p> <p>②保護者相談員による相談室を開催した。共感性の高いアドバイスがもらえ、保護者の心の安定に繋がっていると好評を得ている。療育時間内の兄弟児の預かりを実施し、保護者の通院時などには緊急一時預かりを行った。療育時間外にも必要に応じて面談を行った。</p> <p>3. 地域支援</p> <p>①のびすく、子育て支援室等の4か所を会場に育児サロンと個別相談を定期的に行い、敷居の低い相談の拡充に努めた。</p> <p>②保育園・幼稚園の支援者向けに講演会、ケース検討会を開催し発達障害への理解と支援方法の拡充に努めた。</p> <p>③進路先、地域の幼稚園からの要望に応じ、地域の児童発達支援センター地域相談員がチームを組み支援の手立てとなる相談も受け連携を深める取り組みができた。</p> <p>④卒園児支援「さくらんぼ」は感染対策を講じ、保護者向けに定期開催し卒後の安心を図った。</p> <p>⑤地域において、ペアレントプログラム、初期支援プログラムを実施し普及に努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和4年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われていた。</p> <p>児童の年齢や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされ、専門職配置を生かした療育内容の充実が図られているほか、保護者勉強会やペアレント・メンターによる相談室の開催等、利用児童の支援だけでなく、家族支援も充実している。</p> <p>また、同法人内のたんぼぼホーム6園合同で、地域相談員研修を月1回開催し、嘱託医を迎えてのケースレビューや情報共有を行ったり、近隣の児童館、幼稚園、子育て支援センターへの訪問支援や相談支援を行うなど、地域との連携・交流を積極的に図っている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課